

ボストン美術館所蔵 刀剣×浮世絵

THE HEROES

—武者たちの物語— **Chronicles of the Warriors:**
Japanese Swords x Ukiyo-e from the Museum of Fine Arts, Boston



Photographs©Museum of Fine Arts, Boston

2022年9月10日 (土) ~11月20日 (日)

兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催主旨

勇壮な英雄たち、ひるがえる刀剣、恐ろしげな怪異。スサノオノミコトとヤマタノオロチの戦いや源平合戦、そして上杉謙信と武田信玄の合戦など、軍記物語や武勇伝説に見られる英雄たちの姿を描いた武者絵は、浮世絵の祖と呼ばれる菱川師宣の時代から、多くの浮世絵師によって手がけられてきました。また、そうした武者絵と共通するイメージは、刀剣の鐺つばのデザインとしても使用されます。

本展覧会では、世界最高水準の日本美術コレクションを誇るボストン美術館の所蔵品から、**武者絵118点、武者絵と共通のイメージがデザインされた刀剣の鐺27点、英雄たちの活躍を彩る重要な要素である刀剣20口**を厳選して展示します。また、**武者絵の世界をより分かりやすくご紹介するため、国内コレクションからも刀剣、浮世絵を特別出品**します。

江戸時代の人々が熱狂した英雄たちの物語をぜひお楽しみください。

本展の見どころ

ボストン美術館蔵の武者絵はすべて日本初出品

英雄たちの活躍する姿を描いた、ボストン美術館が所蔵する浮世絵118点と、国内所蔵の浮世絵3点を合わせた、計121点を展示します。

ボストン美術館所蔵の武者絵はすべて日本初出品の作品です。本展覧会出品の武者絵には源平合戦を主題とした作品が多く出品されます。兵庫県には平清盛が一時拠点を移した福原（現在の兵庫県神戸市兵庫区平野付近）や、一の谷の合戦における源義経の陣地と伝えられる福祥寺（須磨寺）をはじめ、布引の滝や大物浦など、源平合戦と関連する名所・史跡が多く残されており、地域の歴史と関連した主題を持つ作品を多く鑑賞できます。

精緻な工芸技術で武者たちの姿をデザインした鐺27点を、武者絵とともに展示します。同一の主題を持つ鐺と浮世絵を並べることで、武者たちのイメージの広がりを鑑賞できます。



歌川国貞「渡辺ノ綱 坂田金時 平井保昌 源頼光」文化12年（1815）頃
William Sturgis Bigelow Collection

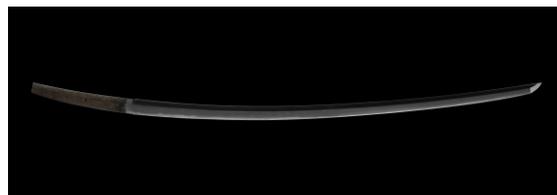


「土蜘蛛退治図鐺 銘 松涛軒吾竹貞勝（花押）」明治時代（19世紀）
Charles Goddard Weld Collection

ボストン美術館から半世紀ぶりに刀剣20口が里帰り

ボストン美術館の名刀を通して、平安時代（11世紀）の刀工安綱から江戸時代の新刀までの日本刀の歴史を概観することができます。また、ボストン美術館所蔵の刀剣がまとまって展示されるのは約半世紀ぶりのこととなります。

ボストン美術館所蔵の刀剣とは別に、国内所蔵の刀剣も6口借用し、展示します。源氏の重宝であり源義経所持の伝承もある「刀 折返銘 長円（薄緑）」（個人蔵）や、上杉謙信の愛刀である重要美術品「太刀 銘 国俊」（個人蔵）、重要美術品「太刀 銘 友成作」（刀剣博物館〔公財〕日本美術刀剣保存協会蔵）などを、関連の深い物語を主題とした武者絵とともにご覧いただけます。



「太刀 銘 安綱」平安時代（11世紀）
William Sturgis Bigelow Collection

神代の武勇譚^{たん}

『古事記』や『日本書紀』、各地の風土記には神々だけでなく天皇や地方豪族の武勇譚も伝えられています。本章ではスサノオノミコトや雄略天皇などの姿を描いた作品を紹介します。



歌川国芳「小子部栖輕豊浦里捕雷」天保5～6年（1834～35）頃
Bequest of Maxim Karolik

平安時代の武者

本章では、^{ふじわらのひでさと}藤原秀郷、^{みなもとのよりみつ}源頼光、^{たいらのこれもち}平惟茂など10世紀から11世紀にかけて活躍した武士の物語を主題とした浮世絵を紹介します。特に、^{つちぐも}源頼光とその四天王による土蜘蛛退治や^{しゅてんどうじ}大江山の酒吞童子退治の物語は、江戸時代の通俗史書『前太平記』にも記述されており、武者絵だけでなく、歌舞伎や浄瑠璃としても親しまれていました。



歌川国芳「源頼光の四天王土蜘蛛退治之図」天保10～11年（1839～40）頃
William Sturgis Bigelow Collection



歌川国貞「茨鬼 辰橋綱逢変化」文化12年（1815）頃
Bequest of Maxim Karolik

源平時代の英雄

『平家物語』や『源平盛衰記』などによって語られた、源平合戦を題材とした作品を紹介します。源平合戦で活躍した武将たちの様々なエピソードは、武者絵の画題として多く描かれてきました。特に源義経は幼少期から悲劇の最期に至るまでの様々なエピソードが絵画化されています。義経所持の伝承のある「刀 折返銘 長円（薄緑）」も併せて展示します。



歌川国貞「武蔵坊弁慶 御曹子牛若丸」文化10～11年（1813～14）頃
William Sturgis Bigelow Collection



北尾政美「巴御前」天明7～寛政2年（1787～90）頃
William Sturgis Bigelow Collection



「刀 折返銘 長円（薄緑）」平安時代（12世紀）個人蔵

鎌倉時代の物語

父を殺された曾我兄弟が、源頼朝が催した富士の裾野の狩場で敵討ちを果たすまでを描いた『曾我物語』は、武者絵の題材として親しまれていました。『曾我物語』を題材とした作品の他に、北条時政が神奈川・江ノ島の弁財天から家紋の由来となる三つ鱗を授かる場面や、有力御家人・和田義盛の反乱で活躍した朝比奈義秀を描いた作品も展示します。



歌川国貞「源頼朝公富士之裾野牧狩之図 三枚続」文化10年（1813）頃
William Sturgis Bigelow Collection

『太平記』の武将たち

『太平記』は、後醍醐天皇の即位から南北朝の動乱までを中心に記述した軍記物語です。浮世絵では、合戦の様子よりも楠正成や新田義貞など、南朝方の挿話を画題としたものが比較的多く描かれる傾向にありました。



歌川国芳「勇魁三十六合戦 四」新田義貞 嘉永4~5年（1851~52）頃
Gift of the Anne Gordon Keidel Trust of June 2016

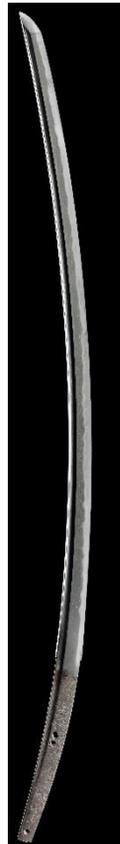
川中島合戦

上杉謙信と武田信玄による川中島合戦を描いた武者絵を紹介します。

永禄4年（1561）に行われた第四次川中島の合戦での謙信と信玄の一騎打ちは、初期浮世絵の時代から多く描かれてきた画題です。また、上杉謙信の愛刀との伝えがある「太刀 銘 国俊」や、上杉家の刀剣台帳にも載る「太刀 銘 長船 長光 文永十一年十月廿五日」も併せて展示します。



歌川国芳「川中島信玄謙信旗本大合戦之図」弘化2年（1845）頃
William Sturgis Bigelow Collection

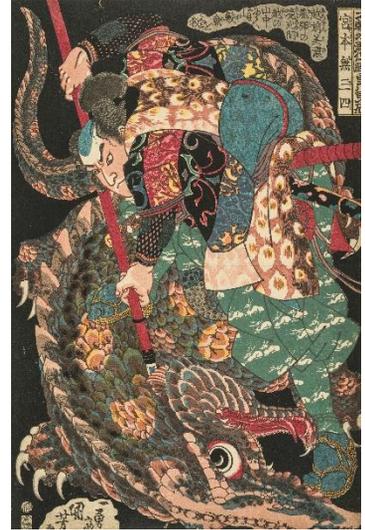


小説のヒーローたち

19世紀になると、『平家物語』や『太平記』といった古典軍記物語だけでなく、「読本」と呼ばれる伝奇的な冒険物語の登場人物を題材とした武者絵も描かれるようになりました。ここでは、伝奇物語を題材とした武者絵を紹介します。



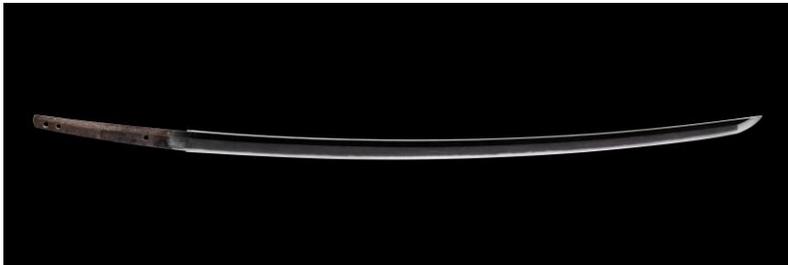
朧楼北鷲「椿説弓張月 巻中略図 山雄（狼ノ名也）主のために蟒蛇を噛んで山中に骸を止む」
天保11年（1840）頃 William Sturgis Bigelow Collection



歌川国芳「本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四」
天保4～6年（1833～35）頃 Bequest of Maxim Karolik

ボストン美術館の名刀

ボストン美術館には約600口の日本刀が収蔵されています。ボストン美術館所蔵の刀剣を、時代や流派の流れがわかるようにまとめて展示します。



「太刀 銘 備州長船住兼光」鎌倉時代（14世紀） Charles Goddard Weld Collection



「金梨子地家紋散糸巻太刀拵」江戸時代（17世紀） Charles Goddard Weld Collection

兵庫県と関連のある作品

兵庫県川西市の多田神社は、源満仲、頼光、頼信、頼義、義家の五公を祀り、清和源氏の祖廟とされます。多田神社は酒呑童子討伐の際に使用した源頼光の宝刀「鬼切丸」と伝わる刀を所蔵しており、この意味でも源頼光の物語との関係が深いと言えるでしょう。



歌川国芳「源頼光」文政3年（1820）頃
William Sturgis Bigelow Collection



「大江山図鑲（小） 銘 起龍軒美盛（花押）」
明治時代（19世紀）
William Sturgis Bigelow Collection

源平合戦の逸話の中には現在の兵庫県内を舞台としたものがいくつか見られます。

例えば「一の谷合戦」は、摂津国須磨から福原（現在の神戸市兵庫区平野付近）で行われており、「飯の梅」「鶉越の逆落とし」などの物語はこの地域を舞台としています。

また、尼崎市大物町の大物主神社には、源頼朝から追討された義経主従が西国へ船出するために同社の東側にあった七軒長屋に逗留したという伝承が存在しています。



歌川国芳「生田森追手源平大合戦」弘化2～3年（1845～46）頃 個人蔵



歌川国芳「義経之軍兵一ノ谷逆落シ之図」天保11～12年（1840～41）頃 個人蔵



葛飾北為「摂州大物浦平家怨霊顕る図」弘化4～嘉永3年（1847～50）頃
William Sturgis Bigelow Collection

本展アンバサダーの黒羽麻璃央さん（俳優）がナビゲーター、声優の小西克幸さんが解説ナレーターをつとめる豪華な音声ガイドです。

琵琶法師・今井勉さんによる平家物語（宇治川）も特別収録しています。

■会場レンタル代：1台 600円（税込）

プロフィール

黒羽麻璃央（くろば・まりお／俳優）

1993年生まれ、宮城県出身。

第23回ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト準グランプリ。

第9期みやぎ絆大使。

■主な出演作

・2012～2014年

ミュージカル『テニスの王子様』2ndシーズン（菊丸英二役）

・2015年～

ミュージカル『刀剣乱舞』シリーズ（三日月宗近役）

・2019年～

テレビ演劇 サクセス荘（ケント役）

・2021年

ミュージカル『ロミオ&ジュリエット』（ロミオ役）



小西克幸（こにし・かつゆき／声優）

和歌山県出身。勝田声優学院に11期生として入学後、野村道子に誘われ賢プロダクションに所属。

代表作は「鬼滅の刃」（宇随天元）「ジョジョの奇妙な物語 Part5 黄金の風」（ディアボロ）「テイルズ オブ シンフォニア」（ロイド・アーヴィング）など多数。

第9回声優アワード助演男優賞を受賞。特技は殺陣。



展覧会人気グッズ

◆頼光スカジャン (受注商品)
187,000円 (税込)



▲裏



▲前

◆牛若丸／弁慶フラッシュ (2種)
各1,540円 (税込)



◆^{つば}鐺コースター (2種)
各1,320円 (税込)



▲橋弁慶^{つば}鐺



▲橋弁慶^{つば}鐺 銘 連行

◆和三盆 ^{つば}橋弁慶^{つば}図鐺
1,296円 (税込)



◆八塩折酒 (3種／全て税込)
赤：3,300円 黒：4,400円 紫：5,500円



▲赤

▲黒

▲紫

◆ホワイトチョコサンドクッキー缶
1,080円 (税込) 「武蔵坊弁慶 御曹子牛若丸」



開催概要

展覧会名：ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 – 武者たちの物語

会 期：2022年9月10日（土）～11月20日（日）

休 館 日：月曜日 ※9/19（月・祝）と10/10（月・祝）は開館、9/20（火）と10/11（火）は休館

開館時間：10：00～18：00（入場は閉館の30分前まで）

会 場：兵庫県立美術館（〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]）

美術館公式サイト：<https://www.artm.pref.hyogo.jp/>

アクセス：阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分/JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分/阪急神戸線王子公園駅西口から徒歩約20分/JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29・101系統）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ/地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。



観 覧 料：

観覧料（税込）	当日	団体	前売9/9まで
一般	1,800円	1,600円	1,600円
大学生	1,400円	1,200円	1,200円
高校生以下	無料	—	—
70歳以上	900円	800円	—
障がいのある方（一般）	450円	400円	—
障がいのある方（大学生）	350円	300円	—

※事前予約制ではありません。混雑時は入場制限を行いますので、お待ちいただく場合がございます。

※団体は20名以上。団体鑑賞をご希望の場合は1ヶ月前までにご連絡ください。

※一般以外の料金でご利用される方は証明できるものを観覧当日にご提示ください。

※障がいのある方1名につき、介護の方1名無料です。

※コレクション展は別途観覧料が必要です（本展とあわせて観覧される場合は割引があります）。

【主なチケット販売場所】

展覧会公式サイト、ローソンチケット（Lコード：55498）、チケットぴあ（Pコード：686-135）、セブンチケット（セブンコード：096-058）、楽天チケット、イープラス、CNプレイガイドほかで販売。

展覧会公式サイト：<https://heroes.exhn.jp/>



お問い合わせ：兵庫県立美術館 TEL:078-262-1011

主催：兵庫県立美術館、ボストン美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、神戸新聞社

後援：アメリカ大使館

協賛：大林組、ダイキン工業、DNP大日本印刷、一般財団法人みなと銀行文化振興財団、
公益財団法人伊藤文化財団

特別協力：公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部

協力：日本航空

関連イベント

【講演会】

- ① 9月10日（土） 講師：原田 一敏 氏（本展監修者・東京藝術大学名誉教授）
演題「刀剣の見かた－HEROES展での楽しみかた－」
- ② 10月2日（日） 講師：岩切 友里子 氏（本展監修者・浮世絵研究家）
演題「武者絵から広がる楽しみ」
- ③ 10月16日（日） 講師：タイモン・スクリーチ 氏
（第27回 山片蟠桃賞受賞者・国際日本文化研究センター教授）
演題「浮世に浮かぶものは何か」

時 間：14：00～15：30 ※開場は30分前から

会 場：兵庫県立美術館 ミュージアムホール

定 員：110名（先着順・要観覧券・芸術の館友の会会員優先座席あり）

【神田伯山、見参！HEROES講談】

日 時：2022年9月11日（日）15：00 開演

会 場：神戸新聞 松方ホール（神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル4階）

料 金：4,000円（税込み、本展観覧券付き）

※チケットのお求めは展覧会公式サイトまたはローソンチケット（Lコード：54233）、チケットぴあ（Pコード：648-310）、セブンチケット（セブンコード：096-261）、楽天チケット、イープラス、CNプレイガイドで。お座席が無くなり次第、販売終了。

【学芸員による解説会】

日 時：9月17日（土）、10月15日（土）、11月5日（土）

いずれも15：00～15：45 ※開場は30分前から

会 場：兵庫県立美術館 レクチャールーム

定 員：50名（先着順）

【こどものイベント】

詳細が決まり次第、当館ウェブサイトにてお知らせします。

こどものイベントについてのお問い合わせ TEL 078-262-0908

同時開催の展覧会

■2022年コレクション展 II

・特集1「リ・フレッシューズ－新収蔵品紹介展」

・特集2「没後50年 吉原治良のミクロコスモス小宇宙」

会 期：7月30日（土）～12月18日（日）

※展示替え期間中（9月26日～10月7日）は常設展示室を閉室します。

・小企画「美術の中のかたち－手で見る造形 彫刻の中のかたち」

会 期：7月30日（土）～9月25日（日）

■横尾忠則現代美術館 開館10周年記念展「横尾さんのパレット」

会 期：8月6日（土）～12月25日（日）

キャンペーン

【キモかわキャラクター大喜利】

本展の浮世絵に登場する“キモかわキャラクター”達に、楽しいセリフを付けて投稿しよう！
公式ツイッターのお題に引用リツイートでご応募ください。

■キャンペーン参加方法

1. ツイッターで、THE HEROES展公式アカウント (@toukenXmushae) をフォロー。
2. 公式ツイッターの“キモかわキャラクター”の画像投稿に「セリフ」を記入いただき、引用リツイートで投稿してください。
 (“キモかわキャラクター”お題は、4回を予定しています。)
3. 参加者の中から、抽選で展覧会グッズなどをプレゼントします。

■キャンペーン概要

実施日時：7月15日（金）～11月20日（日）

- ・お題や、プレゼントの内容等詳細は、7月上旬に公式サイト <https://heroes.exhn.jp/>にてお知らせいたします。

展覧会公式ツイッター：<https://twitter.com/toukenXmushae>



@toukenXmushae

投稿イメージ：

フグの歯だって
ホワイトニング
の時代。



歌川国芳「龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈」(部分)
安政5年(1858)頃 William Sturgis Bigelow Collection

写真撮影

本展覧会は、写真撮影が可能です。
動画撮影はご遠慮ください。

※状況により、会期中で変更になる場合があります。予めご了承ください。



ボストン美術館所蔵
刀剣×浮世絵

THE HEROES

— 武者たちの物語 Chronicles of the Warriors: Japanese Swords x Ukiyo-e from the Museum of Fine Arts, Boston

《報道関係者お問い合わせ先》

ボストン美術館所蔵「THE HEROES展」広報事務局（TMオフィス内）担当：大江・馬場・西坂

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 E-mail：heroes.exhn@tm-office.co.jp

ボストン美術館所蔵「THE HEROES展」公式サイトURL：<https://heroes.exhn.jp/>



←アクセス
QRコード

《兵庫県立美術館の施設についてのお問い合わせ先》

兵庫県立美術館 企画広報担当：政岡・東原・成松

TEL：078-262-0905（直通） FAX：078-262-0903 E-mail：press@artm.pref.hyogo.jp

兵庫県立美術館 ポストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 – 武者たちの物語
2022年9月10日(土)～11月20日(日)
広報用画像貸出 申請書

◆本展覧会の作品画像を、広報素材としてご提供いたします。必要事項をご記入の上、ご返信をお願い申し上げます。

<画像使用に際しての注意>

- ・本展覧会広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展覧会会期終了までとなります。
- ・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には画像クレジットを必ずご掲載ください。
- ・雑誌の表紙などに使用される場合は、本展覧会広報事務局までご相談ください。
- ・全点とも画像の文字乗せは不可となります。
- ・WEBにてご掲載の場合には、コピーガード(※右クリック不可)を施しダウンロード不可にしてください。
- ・概要など確認のため、ガラ刷り・原稿の段階で本展覧会広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- ・掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展覧会広報事務局へ1部ご送付願います。

左記に同意する

◆申込者情報記載欄

媒体名： _____ 貴社名： _____

ご担当者名： _____ 掲載・放映予定日： _____ 月 _____ 日
新聞 テレビ WEB ラジオ
雑誌 フリーペーパー その他

ご住所： 〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

読者プレゼント招待券 (最大5組10名) 希望する 組 名様分 希望しない

応募ハガキの宛先、当選者への発送 御社 _____ 月 _____ 日までに招待券の到着を希望
広報事務局 ※応募宛先 〒541-0046 大阪市中央区平野町4-7-7-8階 TMオフィス内
「THE HEROES」展(媒体名)係

◆ご希望の画像番号に○印をご記入ください

・広報用画像使用の際は、以下のクレジットを必ずご掲載ください。

※ポストン美術館所蔵作品を1点掲載の場合は、Photograph©Museum of Fine Arts, Boston を表記してください。
※ポストン美術館所蔵作品を複数点掲載の場合は、Photographs©Museum of Fine Arts, Boston を表記してください。

No	クレジット	ポストン美術館所蔵
1	「太刀 銘 安綱」平安時代(11世紀) William Sturgis Bigelow Collection	※
2	歌川国貞「渡辺ノ綱 坂田金時 平井保昌 源頼光」文化12年(1815)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
3	「土蜘蛛退治図 銘 松涛軒吾竹貞勝(花押)」明治時代(19世紀) Charles Goddard Weld Collection	※
4	歌川国芳「小童子栖軽豊浦里捕雷」天保5~6年(1834~35)頃 Bequest of Maxim Karolik	※
5	歌川国芳「源頼光の四天王土蜘蛛退治之図」天保10~11年(1839~40)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
6	歌川国貞「茨鬼 辰橋綱逢変化」文化12年(1815)頃 Bequest of Maxim Karolik	※
7	歌川国貞「武蔵坊弁慶 御曹子牛若丸」文化10~11年(1813~14)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
8	北尾政美「巴御前」天明7~寛政2年(1787~90)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
9	「刀 折返銘 長円(薄緑)」平安時代(12世紀) 個人蔵	—
10	歌川国貞「源頼朝公富士之裾野牧狩之図 三枚続」文化10年(1813)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
11	歌川国芳「勇魁三十六合戦 四」新田義貞 嘉永4~5年(1851~52)頃 Gift of the Anne Gordon Keidel Trust of June 2016	※
12	歌川国芳「川中島信玄謙信旗本大合戦之図」弘化2年(1845)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
13	卍楼北鷲「椿説弓張月 巻中略図 山雄(狼ノ名也) 主のために蟒蛇を噛んで山中に骸を止む」天保11年(1840)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
14	歌川国芳「本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四」天保4~6年(1833~35)頃 Bequest of Maxim Karolik	※
15	「太刀 銘 備州長船住兼光」鎌倉時代(14世紀) Charles Goddard Weld Collection	※
16	「金梨子地家紋散糸巻太刀拵」江戸時代(17世紀) Charles Goddard Weld Collection	※
17	歌川国芳「源頼光」文政3年(1820)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
18	「大江山図 銘 起龍軒美盛(花押)」明治時代(19世紀) William Sturgis Bigelow Collection	※
19	歌川国芳「生田森追手源平大合戦」弘化2~3年(1845~46)頃 個人蔵	—
20	歌川国芳「義経之軍兵一ノ谷逆落シ之図」天保11~12(1840~41)頃 個人蔵	—
21	葛飾北為「摂州大物浦平家怨霊頭る図」弘化4~嘉永3年(1847~50)頃 William Sturgis Bigelow Collection	※
22	チラシデータ ※クレジット不要	—

兵庫県立美術館 ポストン美術館所蔵「THE HEROES展」
 広報用画像一覧①



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

《報道関係者お問い合わせ先》

兵庫県立美術館 ポストン美術館所蔵「THE HEROES展」広報事務局 (TMオフィス内) 担当: 馬場・大江・西坂
 TEL : 06-6231-4426 FAX : 06-6231-4440 E-mail : heroes.exhn@tm-office.co.jp

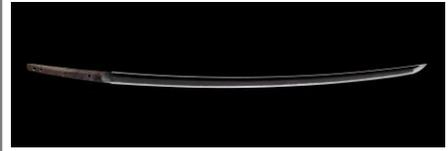
兵庫県立美術館 ポストン美術館所蔵「THE HEROES展」
 広報用画像一覧②



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



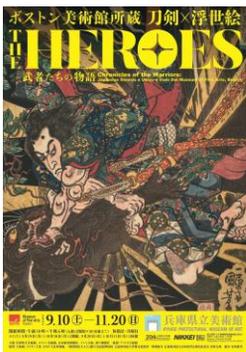
⑲



⑳



㉑



㉒

《報道関係者お問い合わせ先》

兵庫県立美術館 ポストン美術館所蔵「THE HEROES展」広報事務局（TMオフィス内）担当：馬場・大江・西坂
 TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 E-mail：heroes.exhn@tm-office.co.jp